

52 オオヨシノボリ

(ハゼ科)

兵庫県ランク:C

Rhinogobius fluviatilis

環境省ランク:-

種の概要

全長10cm程度。比較的流域規模の大きな河川の中・上流域の急流部に生息する。水生昆虫や付着藻類を食べる雑食性。繁殖期は5~7月頃で、雄が石の下に巣穴を掘って雌を呼び込み、巣の天井に産卵させ、卵を保護する。両側回遊性の生活史を持ち、孵化稚魚はすぐに降海し、2~3か月海で暮らした後に河川に遡上して成長する。ダム上流では陸封個体群も存在する。日本固有種で本州、四国、九州に分布する。



写真提供: 庄子 恭平

県内における生息状況及びその他特記事項

規模の大きな河川の中・上流域に生息する種であり、県内では日本海側の岸田川、矢田川、竹野川、円山川、瀬戸内海側の千種川、揖保川、夢前川、加古川、淡路島の三原川、洲本川などで確認されている。神戸・阪神地域では唯一、中規模の河川である福田川で記録がある。

保護上の留意点

本種は特に瀬を好む魚種であり、産卵には浮石のある礫河床が必要である。河川の中・上流域にあるこのような環境の保全が必要である。また、両側回遊性の生活史を持つことから、河川横断工作物による稚魚の遡上経路の阻害を防ぐ必要がある。

県内分布

神戸市、加古川市、三木市、小野市、多可町、姫路市、赤穂市、宍粟市、たつの市、上郡町、佐用町、豊岡市、養父市、香美町、新温泉町、洲本市、南あわじ市

【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	○
	捕獲	
	遺伝	
特殊性	特殊	
	孤立	
学術性	極限	
	限界	
	希少	

